



学校だより 第11号

令和 2 年 9 月 1 日
新宿区立新宿西戸山中学校
校長 佐藤 浩
副校長 多久 知明



放送による朝礼で、校長講話を真剣に聴く 3 年生の様子

新宿西戸山中学校では、全教職員が「絶対に差別やいじめを起してはならない。」という強い意志をもち、生徒が、新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、正しい行動をとることができるよう、一体となって指導を一層充実させるとともに、いじめや差別、偏見を防ぐための取組を、継続して進めていきます。

◎新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があり、感染した人が悪いということではないこと、◎学校やクラスの中で感染することは悪いことだという雰囲気を作ってはいけないうこと、◎感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人たちが早く治るよう励まし、治って戻ってきたときには温かく迎えること、◎自分が感染したり症状があったりしたら、友達にはどうして欲しいか、ということを考えて行動すること。

現在、全国の学校で集団感染が相次ぎ、感染者らへのいじめや学校への誹謗中傷が起きており、大きな社会問題にも発展しています。こうした現状を重く受け止め、新型コロナウイルスに感染した子どもや学校への差別を防ごうと、萩生田光一文科科学大臣が八月二十五日、児童生徒や教職員、保護者らに向けたメッセージを発表しました。生徒一人ひとりが、このメッセージをしっかり受け止め、正しい行動をとることができるようにしなければならぬということから、昨日、八月三十一日、全校朝礼の校長講話（放送による）で、そのメッセージの読み合わせを行い、全校生徒で、重要なことを確認しました。

六月から全国のほとんどの学校において、教育活動が再開されました。これに伴い、全国の学校で、児童生徒や教職員など学校関係者の新型コロナウイルスの感染事例が多く見られるようになってきました。都内でも、先週の八月二十七日（木曜日）の新聞に、都立高校二校で、教員と生徒の感染事例があったという記事が出ていました。こうした状況を踏まえると、本校も、いつ感染事例が生じても、おかしくない状況にあると言えます。

新型コロナウイルス感染症に係るいじめや差別、偏見を防ぐための指導、取組を一層、充実させていきます。

校長 佐藤 浩

全校朝礼での校長講話を踏まえ、各学級担任が学級指導を行いました！



校長講話の後に、各学級担任は、校長講話の内容をかみ砕いて生徒に分かり易く伝えたり、実際にあった別のいじめや差別の話をしたりしました。いずれの学級も、生徒は真剣に話を聴き、そして、真剣に自分たちのやるべきこと、やってはいけないことについて考え、理解を深めてくれたのではないかと受け止めています。全生徒で力を合わせて、いじめのない楽しい学級を創っていつてくれることを期待しています。



校長講話の一部を紹介します。ご家庭でも話題にしてください！

- 8月17日、奈良県天理市にある天理大学のラグビー部で、新型コロナウイルスの集団感染が発生しました。天理大学は、その後、8月20日に、ラグビー部の部員とは、全く接点がない一般学生が教育実習を断られたり、アルバイト先から出勤停止を求められたりする事例が5件あったことを明らかにしました。
- 具体的には、集団感染が判明した17日以降、教育実習生として参加する予定だった学生3人に対し、受け入れ先の県内外の中学校・高等学校3校から「地域の人が不安に感じるので受け入れをやめたい」「PCR検査で陰性だったら受け入れる」などと電話があり、また、別の学生2人はバイト先から「しばらく出勤を見合わせてほしい」と告げられたということでした。
- また、8月25日、新潟県が今年の3月から8月25日までの期間に、県内の小学校と中学校、高校で新型コロナウイルスに関するいじめが、確認できただけでも8件起きていたことが分かったということを明らかにしました。そのいじめとは、親が医療関係の仕事に携わっていることや、感染が拡大している地域に用事で出かけたこと、一定の期間、学校を休んだことなどをきっかけに、感染していない児童や生徒の名前を「コロナ」と呼ぶなどのケースが目立ったということでした。
- 現在、全国の学校では集団感染が相次ぎ、今話した事例のように、感染者らへのいじめや学校への誹謗（ひぼう）中傷が起きており、大きな社会問題にもなっています。こうした現状を重く受け止め、新型コロナウイルスに感染した子どもや学校への差別を防ごうと、萩生田光一（はぎうだ こういち）文部科学大臣が、8月25日、児童生徒や教職員、保護者らに向けたメッセージを発表しました。
- このメッセージの中で、特に皆さんにしっかりと受け止めてもらいたい大事な箇所である第4段落から第6段落までを読み合わせます。



- ④ 新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということではありません。学校やクラスの中で感染することは悪いことだという雰囲気が出てしまうと、新型コロナウイルスに感染したと疑われることをおそれて、具合が悪くなくても、その後は言いだしにくくなったり、病院に行くのが遅くなったりしてしまいます。そうすると、さらに皆さんの地域で感染が広がってしまうかもしれません。
- ⑤ 感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人たちが早く治るよう励まし、治って戻ってきたときには温かく迎えてほしいと思います。もし、自分が感染したり症状があったりしたら、友達にはどうしてほしいかということを考えて行動してほしいと思います。
- ⑥ すでに、感染した人達が心ない言葉をかけられたり、扱いをされたりしているという事例が起きています。こうしたことが皆さんの周りでも起きないように、皆さんにも協力してほしいのです。

- 皆さんには、このメッセージが何を伝えようとしているのか、しっかりと考えて欲しいと思います。皆さん一人ひとりがこのメッセージをしっかりと受け止め、正しい行動をとることができなければ、本校においても、先ほど話した事例と同様のことが起きてしまうのではないかと思います。
- 自分のクラスで、もしも、新型コロナウイルスに関する差別やいじめが起きてしまったら、その先、クラスはどうなるでしょうか。新宿西戸山中学校はどうなっていくのでしょうか。想像してみてください。新宿西戸山中学校の全生徒と全教職員はもちろん、多く人が傷つくことになります。今一度、感染者に対する差別やいじめはもとより、感染者が所属する学校や会社など組織全体への不当な差別や誹謗中傷は、決して許されないということ、そして、そうしたことは、社会を分断させることにもつながるということを、新宿西戸山中学校の教職員と生徒の全員で確認しましょう。



- 先生方は、「新宿西戸山中学校において、絶対に差別やいじめを起こしてはならない。」という強い意志をもって、生徒の皆さんが新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、正しい行動をとることができるよう、指導を一層充実させていきます。いじめや差別、偏見を防ぐための取組も継続して進めていきます。皆さん一人ひとりがしっかりと考え、想像し、正しく行動してくれることを願っています。

- 最後に、新型コロナウイルス以外のことで、どんな小さなことでもかまいません。悩みごとがあったり、辛いことがあったりしたら、一人で抱え込むことなく、すぐに誰かに相談してください。皆さんの身近には、学級担任の先生、スクールカウンセラーの先生をはじめ、たくさんの先生がいます。その他にも、いつでも相談できる場所が数多くあります。今日配布したメッセージの裏面には、相談機関が記載されていますので、こうした機関も活用してください。

昨日、文部科学大臣の「保護者や地域の皆様へ」のメッセージも配布しました。社会問題にまで発展した感染者へのいじめや学校への誹謗中傷について、ご家庭でも話題にし、正しい行動の在り方等をお子様と一緒に考えていただけると幸いです。

